

国家検定型式番号		受第28～1号					
主な機能		自動試験機能、部屋番号表示機能 液晶ガイド機能、音声ガイダンス機能 発報階音声メッセージ機能 連動設定PC対応、自己診断機能 非常放送連動機能付 地区音響逐次鳴動機能付 地区音響拡大警報機能付 回線種別切替機能（自火報／諸警報） プッシュトーク機能 増設スピーカー連動機能 履歴確認（液晶）機能 （発報／操作／トラブル）					
回線数		自火報兼用 50回線					
地図版サイズ		A2縦 サイズ					
共通規格	常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2) 消費電力 警戒時最大 60VA 警報時最大 100VA		自火報定格	感知器接続数 （個／回線）		
	予備電源	DC24V 1650mAh 受託評価適合品 ニッケルカドミウム蓄電池 （充電方式：トリクル充電 充電電流33mA）					
	副受信機 電源・音響	DC24V 220mA (I+、IB+ - I-)					
	副受信機 ※1	無電圧接点出力 (IC-I1・・・I30) 接点容量 DC30V 1A					
	表示灯	DC24V 840mA (U+ - U-)					
	増設スピーカー	配線長 φ0.9:50m以下 φ1.2:100m以下 WQN970W (3台まで) 又はEC95352 (1台まで) （※パナソニック製）					
自火報定格	感知器電圧・電流	DC30V 短絡電流 38mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下 (Cn-L1・・・L50) 最遠長2Km		諸警報定格			
	終端器 ※2	終端抵抗器10kΩ 終端抵抗器20kΩも対応可能 PXアドレス付終端器 (NSY453) PX発信機					
	感知器接続数 （個／回線）	蓄積型感知器は接続できません。 熱感知器（電子式自己保持タイプ）以外 （一般熱感知器（接点式）・差動分布型感知器（空気管式））は、 1回線あたりの接続数に制限はありません。 終端器が終端抵抗10kΩの場合 A：熱感知器（電子式自己保持タイプ）：80個まで B：煙感知器（1種、2種、3種）：30個まで D：光電式分離型感知器：1セット E：差動式分布型感知器（熱電対式）：5個 F：炎感知器：4個 G：PX感知器+PX発信機：30個 上記感知器が混在する場合、上記条件に加え $A+\frac{8}{3}(B+G)+20F+16E\leq 80$ を満足すること 光電式分離型感知器と他の感知器は混在不可					
終端器が終端抵抗20kΩの場合 A：熱感知器（電子式自己保持タイプ）：20個まで B：煙感知器（1種、2種、3種）：7個まで D：光電式分離型感知器：接続不可 E：差動式分布型感知器（熱電対式）：1個 F：炎感知器：1個 G：PX感知器+PX発信機：7個 上記感知器が混在する場合、上記条件に加え $A+\frac{8}{3}(B+G)+20F+16E\leq 20$ を満足すること 光電式分離型感知器は接続不可 終端器がPXアドレス付終端器、又はPX発信機の場合 A：熱感知器（電子式自己保持タイプ）：80個まで B：煙感知器（1種、2種、3種）：63個まで D：光電式分離型感知器：1セット※ E：差動式分布型感知器（熱電対式）：10個 F：炎感知器：8個 G：PX感知器+PX発信機：63個 上記感知器が混在する場合、上記条件に加え $A+\frac{8}{3}(B+G)+20F+16E\leq 168$ を満足すること 光電式分離型感知器と他の感知器は混在不可 ※終端器がPX発信機の場合は、接続不可		主音響装置		警報音（断続音）+音声メッセージ 85dB以上			
地区音響装置 ※3, 4		DC24V 800mA （BC-BL+, B1・・・B25） 非常放送時地区音響停止機能（EB+-EB-）		蓄積時間		公称蓄積時間 60秒 煙感知器の場合 60秒 熱感知器の場合 10秒	
非常放送連動 ※4, 5		無電圧接点（EC-EF, EA1・・・EA25） 接点容量 DC30V 1A		消火栓始動		無電圧接点（H1-H2） 接点容量 DC30V 1A 始動確認灯（24V 5mA）（HL1-HL2）	
火災代表移信接点		無電圧接点（Fc1-Fa1・Fb1）（Fc2-Fa2・Fb2） （Fc3-Fa3）（Fc4-Fa4・Fb4） （Fc5-Fa5） 接点容量 DC30V 1A 個別移信停止用オプションスイッチ 5回路 （OP1～OP5）		諸警報電圧・電流		DC24V 短絡電流 5mA 外部配線抵抗 往復50Ω以下 （NC-N1・・・N5）	
諸警報音響装置		警報音（断続音） 70dB以上					

型式番号	受第28～1号	制定日	2020年10月 1日 改	日本ドライケミカル株式会社		
種別	P型1級受信機 （蓄積式及び自動試験機能付）	品名	PX地図式受信機 P型1級火災受信機50回線（自動試験機能付） 地図式（A2縦）自立型 仕様書		品番 図番	NBP153BEA50 3Y-07205-AP-50L 1/2

使用周囲温度	0～40℃																
質量	約150kg																
適用図面	外觀図	3A-07205-AP-50L															
	操作部詳細図	3A-07202-AP-FU															
	内部回路図	3S-07202-AP															
FP2TG（ver4）受信機構成設定 ※6																	
<table><tr><td colspan="2">自動試験</td><td>有</td></tr><tr><td colspan="2">プリンタ</td><td>なし</td></tr><tr><td rowspan="4">回線設定</td><td>感知器総回線数</td><td>50</td></tr><tr><td>防排煙回線数</td><td>0</td></tr><tr><td>地区音響出力数</td><td>25</td></tr><tr><td>移信出力数</td><td>30</td></tr></table>			自動試験		有	プリンタ		なし	回線設定	感知器総回線数	50	防排煙回線数	0	地区音響出力数	25	移信出力数	30
自動試験		有															
プリンタ		なし															
回線設定	感知器総回線数	50															
	防排煙回線数	0															
	地区音響出力数	25															
	移信出力数	30															

その他

付属品：電話機 1台

※1. 131以上に出力を増やす場合は、別売の移信用リレーユニット30回線を受信機に取り付けたうえで、受信機と副受信機の接続を行ってください。

※2. 20kΩ終端抵抗器を接続する場合は、ソフト設定により、終端器設定を「20K」に、☒アドレス付終端器を接続する場合は、「AD64 シュウタンキ」に、☒発信機を接続する場合は、「AD64タンマツ」にしてください。

※3. 非常放送側の接続端子に終端抵抗器10kΩを接続してください。地区音響装置は、自動試験機能対応音響装置（NYB915EXB, BVR92501（パナソニック製））音響装置用終端器（NYY915）が必要です。また、ソフト設定により、地区音響出力を空き回線（導通機能無）に設定が可能です。

※4. （B1・・・B25）と（EA1・・・EA25）は端子を兼用し、ジャンパ設定により受信機一括で切替えます。

※5. 無電圧接点（EC-EF）は発信機発報、または、第2報目の感知器発報の場合、スプリンクラー放出力時に出力されます。

※6. パソコン上の専用ツール（FP2TG（ver4））で作成し、SDカードに出力した設定データを受信機に読み込むことができます。FP2TG（ver4）で受信機の設定データを作成する場合は、FP2TG（ver4）の受信機構成設定を間違わないよう正しく行ってください。正しくない受信機構成設定で作成した設定データは、受信機に読み込むことができません。

（ご注意）・蓄積型煙感知器は接続できません。

・電話機は、受信機内に収納することができます。

・受信機をお取替される場合、現行受信機では、表示灯・地区音響装置・総合盤の電源容量が不足する場合があります。お取替前に必ず現在接続されている表示灯・地区音響装置・総合盤の消費電流をご確認ください。

（表示灯・地区音響装置・総合盤も現行商品にお取替することをおすすめします。）

・受信機には、駆動方式が電磁式でない地区音響装置を接続ください。（電磁式の場合、受信機内部回路を壊す恐れがあります。）

・SDカードは付属していません。別途ご購入ください。

パナソニック（株）製のSDカードあるいはSDHCカードをお使いいただくことをおすすめします。

型式番号	受第28～1号	制定日	2020年10月 1日	改	日本ドライケミカル株式会社	
種 別	P型1級受信機 (蓄積式及び自動試験機能付)	品 名	PX地図式受信機 P型1級火災受信機50回線（自動試験機能付） 地図式（A2縦）自立型 仕様書		品 番 図 番	NBP153BEA50 3Y-07205-AP-50L 2/2